

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第752号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日—令和2年9月1日
●発行所—札幌市中央区
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

令和3年度 北海道手をつなぐ育成会

第66回 全道大会「岩見沢大会」

第1回 実行委員会開催!

大会テーマ 「だれもが自分らしく暮らせる社会を」

大会スローガン 「巻き起こそう! 共生社会の実現を」

巴のまち岩見沢から

8月10日(月)、社会福祉法人ゆあみ会「工房こぶし・いこい」の一室を会場に、関係者12名の参加のもと、空知手をつなぐ育成会連絡協議会三役会議を兼ね、標記の実行委員会が開催されました。

コロナ禍における会議ということもあり、参加者を限定し、全員が事前に体温を測定、マスクを付け、会場では、消毒液を準備し、ドアを開けたままにする等、換気にも配慮、細心の注意を払いながら臨みました。

冒頭、空知手をつなぐ育成会連絡協議会会長であり、岩見沢市手をつなぐ育成会会長の佐藤恵三氏より、次のようなご挨拶がありました。

「先日、北見市手をつなぐ育成会より全道大会の準備に係る引継ぎをいただき、大変参考になりました。私たち『オール空知』で



望みます。先ずは本日の会議を経て、関係自治体、機関に対し、後援依頼や財政的支援をお願いする活動を展開してまいります。何より、コロナ禍での全道大会、様々な困難が予想されます。そもそも開催できるかという大きな不安もあります。ですが、今は必要な準備を滞りなく進めることが重要と考えています。ご協力、ご支援を心からお願ひします。」

続いて道育成会会長の佐藤春光氏からは次のようなエールが送られました。「残念ながら北見大会は実施することができませんでしたが、その取り組みにおいては、貴重な教訓を残してくれました。それは、大会の会場となる地区育成会だけに負担を強いるのではなく、ブロック全体で役割を分担し、荷を分かち合いながら、準備活動を進められたことです。大会は、全道の会員や支援者、当事者にとって、研修と交流の大切な場であり、本当に楽しみにし

ている事業のひとつです。幅広い分野の方々で構成する実行委員会の奮闘を心から期待します。道育成会も共に汗し、参加者はもちろんのこと、多くの関係者に元気を届けられる大会になればと思います。」



まなみーる

この後、実行委員会では「大会趣旨」「大会テーマ」「大会スローガン」「会場」「期日」「日程」「実行委員会名簿」「大会役員名簿」等が事務局より提案、了承され、実行委員長に「佐藤恵三氏」を選出し、終了しました。次回は、9月、「予算案」「チャレンジド」「本人大会」等について、検討が実施される予定です。
期日…令和3年 7月31日(土) 8月1日(日)
会場…岩見沢市民会館「まなみーる」
北海道グリーンランド
ホテルサンプラザ

なお、第1回実行委員会に先立ち、8月6日(内)、かでの2・7において『第66回「岩見沢大会」準備のための三者会議(当該地区と道育成会三役)』が開催され、全道大会の引継ぎが行われました。
北見市育成会の皆さんはもちろんのこと、オホーツク地区の育成会及び、多くの関係者に感謝、その労をねぎらい、空知地区、岩見沢育成会に全道大会の「バトン」が引き継がれました。

退任にあたり

親の会は生涯共育

隣人愛に触れる

十勝地区手をつなぐ親の会連絡協議会

元事務局長 池田 正勝

今から14年前のことです。帯広養護学校で同僚だった鈴木謙三氏と私のところへ、当時十勝の連絡協議会会長であった武野温恭氏から、二人で事務局を引き受けてはくれないかと何度も訪問を受けました。



帯広市育成会畑中会長・池田事務局長

それまでは十勝支庁福祉課に事務局が置かれていましたが、行政改革に伴い民間に委託することになったそうです。余り状況を把握できないままお引受けし、鈴木氏と共に、三役会、役員会、研修会と少しでもお役に立てるよう努力をしてまいりました。6年間は二人三脚でしたが、鈴木氏が体調を崩し、私が残され？その後、妻の助けを借りながら7年間、事務局長という立場で種々の事業をお手伝いさせていただきました。皆様の寛大な心に接しながらも、至らぬことばかりで恐縮至極です。

幕別町立中里小学校の教師だった私にとっ

て、障がい児者との関りは、昭和49年4月に開校した網走養護学校に赴任したのが初めてでした。そして、その4年後、帯広養護学校の開校で再度、十勝に戻ってまいりました。住まいは清水町の閉校になった僻地の小学校教員住宅でした。そこでは、元校舎を利用して養護学校の生徒さんや親御さん、YMCAの学生ボランティアリーダー達が家族ごとに関わり、療育キャンプのようなことを十数年続けることができました。私はキャンプ場の村長として、親しく交流させていただく機会を与えられ、多くの恵みをいただきました。

当時のお子さんたちは、現在、施設に入所通所、また、グループホームから事業所に通うなど、今も見守る人たちが必ずおられ、安心できる場所です。と信じています。

しかし、親がなくなつた時、その後のことが心配です。今後、行政はもとより、地域の皆さんが自分事として捉えることで、誰にとつて



令和元年度十勝ブロック研修会（更別村福祉の里総合福祉センター）

も温かい地域を目指すことになると思われます。言うのは簡単ですが…。

事務局をお引き受けする以前から帯広で開催された全道大会のお手伝いをしていました。8年前の全道大会は十勝川温泉笹井ホテルで開催され千名余りの集いで地元や、役場、社協の職員が心を込めて準備をされ、素晴らしい笑顔に出会うことができました。

現在、十勝にある市町村の育成会は、道の連携を保ち、十勝ブロック全体の団結を力に、活性化への道を歩んでいます。退任した身ではありますが、これからも微力ながら関わらせていただきたいと思います。

道育成会長、佐藤春光氏を始め、十勝の会員の皆様、本当に長い間、ありがとうございました。最後に一言。

「われら万年青年、出会いで愛！」



「つばさバンド」

音更町で活躍する障がい児者で構成されたバンド。毎年「福祉祭り」に出演。指導者は十勝ブロック前会長の高金國男氏。週2回の練習ですが残念ながらコロナの影響を受け、今お休みしています。

団体保険制度

手をつなぐ暮らしのおたすけプラン



全国手をつなぐ育成会連合会が共同通信社の取材を受け、配信された記事が、8月13～14日かけ、ヤフーニュースをはじめ、新聞各紙で報道されました。「国内初の所得補償保険」(日経見出し)「障がい者に所得補償保険」(道新見出し)等です。その後、当会事務局にもお問い合わせをいただきました。

この取り組みについては、6月22日、全育連の新たな事業として、道育成会のホームページでご案内をさせていただきました。また、全育連を代表し「久保会長」は、会員、支援者の皆様に次のようにご加入を訴えています。

私たち育成会は、障がいのある人の権利を守り、本人の発達、教育、労働、生活のために必要な政策を提言する活動を進めています。共生社会を目指す我が国においては、今後も新たな社会の仕組みや制度、法律が必要となるため、私たちも引き続き役割を担っていきたくと考えています。

こうした社会への働きかけと同時に、障がいのある本人とその生活を支える家族を守っていくことも必要となります。そうした目的のために新たな事業として、本人の生活を支える家族等が働けなくなった時の暮らしを支

える団体保険「手をつなぐ暮らしのおたすけプラン」(団体長期障害所得補償保険)をスタートいたしました。

育成会連合会の会員と、本人のための支え合い活動として育成会の団体保険「手をつなぐ暮らしのおたすけプラン」にご加入いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先は《全育連》 ☎03・5358・9274 となりますが、プラン内容に関して「保険の紹介を動画で分かりやすく説明してもらいたい」「具体的な保険料が分かりにくい」とのご意見をいただいたことから、全育連では、動画を 유튜브 公式チャンネルにアップしています。道育成会のホームページの「情報発信」をクリックし、7月22日《分かりやすく動画でお伝えする『手をつなぐ暮らしのおたすけプラン』について》をご覧ください。

知的障がいのある子を持つ親の声

- ・自分たち親にもしものことがあったら、子はどうなってしまうのか不安
- ・ひとり親家庭のため、自分が病気になったら家計を支える人がいない
- ・子が働き始めたが、通常の所得補償保険に加入するのは難しい。病気などで離職、休職するリスクはあるので心配
- ・自分が死んだ後、残される子や家族に負担を掛けたくない



道育成会通所事業所連絡協議会

第2回 役員会(報告)

多くの事業所では、コロナ禍のもと、利用者や職員への「感染防止対策」に様々な工夫と配慮が求められ、同時に事業所運営についても、かつてない困難に直面しています。

そうした中、7月27日、かでの2・7において、標記の会議が開催され、当面の活動について次のような方向が提起、確認されました。

○6月に予定していた総会及び、研修会を中止したこと。また、会費負担の軽減を図る意味で、全事業所を対象に今年度のみ、徴収額を昨年度のほぼ半額とする。

○規約上、総会において会費額を決定することになっているため、各事業所へ改正議案を郵送し賛否を問う「書面評決」の手続きをとる。

*8月11日 40事業所の賛成を得て議決。○「魅力ある事業所研修会」については、感染対策を徹底したうえで、10月31日(土)かでの2・7において開催する。

講師…又村 あおい氏(全育連事務局長) 演題…「コロナ禍における事業所運営」
「新たな制度活用と工夫、全国の事業所の動向から」(仮題)

今後の予定

9月14日 第3回理事会

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんのある方、
ご家族に

病氣やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康組合保険（特約付）2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

弁護士が
全面的に
サポート

このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150
平日9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
【2020年1月作成 19-T06633】

知的障がい児者・自閉症児者の
生活サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…
全国で約140,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

**AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度**

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目8-2
SRビル4F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病氣やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年1月現在の内容です。(D-004359 2021-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
通所事業所連絡協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 (4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

一般社団法人旭川手をつなぐ育成会 **ぽぷら事業所**
〒070-8002 旭川市神楽2条11丁目1-6
電話(0166)74-4635 / FAX(0166)74-4650
E-mail: ikuseikai.popura@bz04.plala.or.jp

★多機能型事業所
☆定員…就労継続支援B型 18人、生活介護 15人

★主な作業
☆資源回収
☆シール貼り・袋詰め等
下請け作業
☆畑作業、除雪作業
☆リサイクルプラザ等施設外就労
☆しめかざり販売
☆ビーズアクセサリー販売